

令和5年度第1回愛西市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会
会議録（概要）

会議名称	愛西市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会
開催日時	令和5年8月3日（木） 午後1時30分から午後2時50分まで
開催場所	佐屋保健センター 2階会議室
出席委員	委員長：上 敏明 副委員長：浦田裕介 委員：原田健三、高橋寛直、山田 豊、平井 正、矢留仁道、板谷一恵、 藤澤恵美、伊藤八枝子、堀田豊彦、中村文子
欠席委員	安井 久、鷲野明美、沖 香里
事務局	保険福祉部長 人見英樹、保険福祉部参事 高松潤也 高齢福祉課長 八木久美子 高齢福祉課 山田光正、城 安代、木村友也
協議事項等	議題 （1）愛西市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の概要について （2）第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査について ①愛西市介護保険に関するアンケート調査の結果概要について ②アンケート結果からみえてきたことについて ③愛西市の高齢者を取り巻く現状について
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人	0人
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・愛西市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会名簿 ・愛西市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の概要（資料1） ・愛西市介護保険に関するアンケート調査の結果概要（資料2-1） ・アンケート結果からみえてきたこと（資料2-2） ・愛西市の高齢者を取り巻く現状（資料2-3）

審議経過

発言者	内容（概要）
	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・委員会の成立の報告 ・会議の公開・傍聴人の報告 ・委員長あいさつ
委員長	<p>それでは、お手元の会議次第により、議事を進行させていただきます。 議題（１）「愛西市第９期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の概要について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、お手元の「資料１」をご覧ください。 （資料１に基づき、事務局より説明）</p>
委員長	<p>このことについて、何かご質問等ありますか。全般的に説明がありました。身近なことですぐにできることは何でしょうか。それぞれ皆さまに関連する部分についても説明があったかと思います。歯科という観点から疑問になるところはありましたか。</p>
委員	<p>疑問ではないですが、歯医者は何度か通わなければ治療が終わらず、高齢者の方を介護している家族の方が連れてきている場合だと、複数回来ることが大変で、いつ終わるのかを家族の方に言われることもあり、あと数回だと伝えても、家族の方にもお仕事等あるので通えなくなることもあります。私どもも無駄に来てもらおうとは思わないので必死で治療しますが、介護者の方が要介護者を見られない、医療機関に連れて行けないとなってしまうことがあるので、具体的な支援方法はまだわかりませんが、そういった介護者へのサポートが必要だと思います。</p>
委員	<p>歯科のことに関連して、私の主人は車いすで移動しており、デイサービスに通っています。歯医者に行くときは、私が車いすを乗せられる車をお借りして、デイサービスへ主人を迎えに行き、歯医者に連れて行っていました。ある時先生が自宅を訪ねましょうと言ってくださり、訪問診療を行っていただきました。私の住む地域には他に訪問診療されていたところはなく、初めてだったようですが、助かりました。</p>
委員長	<p>歯科医のネットワークはまだ不足しているということでしょうか。</p>
委員	<p>ちょうど今、歯科医師会でその話をしています。まず、歯医者が出発診療をしていることを知らない方は多くいると思います。訪問診療を行っていることや、どこの歯医者が行っているのか周知する方法について、つながるまい愛西や海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターと一緒にあま市でアンケートをとるなど、歯科医師会でも訪問診療の体制づくりを頑張っています。</p>
委員	<p>アンケート調査の結果からもわかるように、複数の課題があるかと思います。それを受けて計画を策定し、施策を実行していくということになるかと思いますが、資料１で計画について見てみると、６～７ページに基本指針が書かれていま</p>

	<p>すが、具体的に何をするのがわからない。いくつか課題がある中、力を入れて取り組んでもらいたいという思いがあるので、例えば1. 介護サービス基盤の計画的な整備の1つ目「中長期的な地域の人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉えて」に関連したところでは、どういうことを実行していこうと考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらについては7月に方向が示されたばかりなので、現時点ではその内容については未定です。</p>
委員	<p>この基本指針をずっと見ていくと、3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上に「介護人材を確保するため」として外国人材の受入環境整備などを総合的に実施すると書かれています。具体的にどういうことなのか、どこまで踏み込んでやっていただけるのか、ということに興味をもったのでお聞きしました。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては県と特に力を入れてやっていくということになっていきますので、連携して進めたいと思っています。</p>
委員	<p>先ほどの歯科への通院の話に関連して、私ども介護事業者としても、例えば事業対象者が認定を受ける前段階でデイサービスやさらに細かな支援、サービスを受けられるということ、また訪問診療ができる歯医者があるということ、そういったことに関する総合的な案内が必要だと思います。サービスに関する入り口のところや最後のところ、また医療的なところはほとんど知られていない。愛西市内も色々な施設の整備が進んでいるので、あとは介護事業者側ができない領分である市内の社会資源の総合的な情報提供について、市側が冊子などを踏み込んだ形で作成、周知していただくとよいかと思います。そういった冊子を、広報あいさいと同様毎年配るといったことをしていただければと思いますので、ご検討お願いいたします。</p>
委員	<p>まず、昨年12月の会議の中で、アンケートの項目に関して提言がいくつか出ており、どのように吟味をし、調査票の項目を変更したのか、それとも全く変更せず行ったのかについてお聞きしたいと思います。次に、資料2-1の7ページには、外出を控える理由として「交通手段がない」という回答が12.8%あります。また8ページには複数の項目がありますが、ここで一番ネックとなっているのは、市民の足であるべき巡回バスの利用がとても少ないという点です。更に10ページの今後地域で暮らしていくために必要なサービス、32ページの在宅生活を続けるために充実が必要なサービスでもそれぞれ外出や移動の問題が出てきております。以上のことからみえてくる巡回バスの問題について、私は第5期の計画策定から関わっておりますが、そのころから継続して出てきております。また、巡回バスの運行をしていると言っても、例えば赤目町から海南病院に行くとする、八開ルート便に乗って市役所に行き、海南病院行きのバスに乗り換えなければならない。こういったことができるのかということ、うまくできていないのではないかと私は思います。ですから、最も市民の足となるべき巡回バスについて、どう</p>

	<p>すれば高齢者の方が気楽に乗れるのか、抜本的な見直しが必要だと思います。全国には様々な取り組みをしている市町村があり、電話をすることで自宅近くまで迎えに来てくれる、というような施策をしている地域もあります。この外出や移動の問題について、愛西市の政治姿勢としてやっていただきたいと思います。最後に、巡回バスの問題同様毎回出ている問題として、ゴミ出しの問題があります。この問題も 10 ページ、32 ページともに出ております。ゴミ出しの問題は、高齢者の生活の中で大変なストレスであると同時に社会的な問題でもあります。今年の3月に地域ケア推進会議を行いました。これは地域福祉を担当する専門職が地域課題を持ち寄って検討し市役所に提言するというものですが、ここでも一番問題となっているのが、このゴミ出しです。現状として地域の有志がボランティアとして集まってつくる団体である訪問型サービスBがゴミ出しを行っているということです。この団体の会員になった方たちがゴミ出しや、他にも布団干しなど様々なことを行っておりますが、やはり限界があります。調べると愛西市の中にもいくつかのグループはありますが、ゴミ出しは朝早い時間で、曜日も決まっています。利用者と訪問型サービスBの方の間の移動距離の問題もあり、うまくマッチングしないことが非常に多いそうです。これもお願いできない方は、訪問介護のヘルパーさんやデイサービスの職員の方が掃除の時にやっているそうです。ただ、そこにも時間的余裕がなく、またゴミの分別ができていないことや水物で内容物が残ったままということも多いため、ヘルパーさんやデイサービスの職員がゴミを持ち帰り、分別しているということで、働いている方の善意に頼っているということです。対策しなければいずれはゴミ屋敷問題にも繋がっていくと思います。第8期計画には計画期間中に検討する旨が書かれておりましたが、この間にどこまで進んでいるのか。ただ、前回の地域ケア推進会議には、環境課の課長補佐が出席し、改善したいという気運は見受けられました。第9期計画には、移動手段の巡回バスの問題とゴミ出しの問題について、具体的に載せてもらいたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>市も、問題点をすぐにすべて解決することはできないので、1年に1つずつでも解決に向けて取り組む姿勢が大切です。冒頭でお話しした高齢者見守りステッカー配布事業のように、1年後のこの委員会でもどう改善したか、どう利便性が上がったか示せるようにするべきです。巡回バスについても、私も走っているところを見ますが、ほとんど乗っていません。今のやり方がよいのかどうか、もう一度高齢福祉課でチームを組んで徹底的に検討してはどうか。そうすれば、各計画についてより深く吟味できるかもしれません。ゴミ出しの問題についても、ゴミ屋敷が発生する前に予防策を取ることが大切だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>移動手段とゴミ出しの問題についてご意見いただき、ありがとうございます。団塊の世代が75歳以上となる2025年問題が間近となっておりますが、これらの問題は年齢を重ねるにつれて皆さまができなくなるところになります。市といたしましてもこれらの問題には今取り組んでいる最中ですので、第9期計画の中で</p>

	<p>具体的に表記できるよう進めていきたいと思っております。</p> <p>先ほどご質問いただきました調査票について、市と委託業者で協議の上修正を加えております。今皆さまのお手元にアンケート結果の報告書があるかと思いますが、284 ページ以降に修正後の調査票が掲載されております。選択肢についても色々ご意見をいただきましたので、それらの点についても修正を加えた調査票で調査を実施しました。</p>
委員長	<p>調査を実施しただけではなく、調査をした結果を基に、市と連携をして踏み込んだ形で計画策定に向けて行動してほしい。すべての問題に対応することが難しいことはわかるが、一歩でも二歩でも進んでほしい。</p>
委員	<p>関連してですが、質問項目について意見させていただきます。生きがいについて訪ねている問のところで、前回の会議でこれでは答えづらいので、表現について何か考えてほしい旨発言をして、検討しますという回答をいただきました。私のところにもこのアンケートが届いたので、私も答えましたが、生きがいの問については修正がされていませんでした。生きがいという言葉が出てくると、社会的繋がりのような意味合いが含まれているのか、自分の趣味について考えて良いのか、やはりわかりにくかったです。同じようにこの言葉に惑われた方も多いのではないかと思います。生きがいという言葉には色々な捉え方があると思うので、次回もしアンケートをやられる時はご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>答えづらいという意見も承知の上ではありますが、この質問は国からの必須項目となっており、変更が難しいです。次回も同様の設問があるかもしれませんが、どうしても変えられない部分がございますので、ご了承いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>国からの必須項目といっても、生きがいとただ書けばよいというものではない。この生きがいはあなたの生活における生きがいを指します、などもっと具体的なことを、枝葉をつけて書くことが大切ではないでしょうか。</p> <p>続きまして、議題（２）「第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査について」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「愛西市介護保険に関するアンケート調査の結果概要について」 ②「アンケート結果からみえてきたことについて」 ③「愛西市の高齢者を取り巻く現状について」 <p>に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、お手元の「資料2-1」「資料2-2」をご覧ください。内容につきましては、第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定を委託しております 株式会社エディケーションの担当から説明します。また、「資料2-3」高齢福祉課の担当 から説明します。</p> <p>（資料に基づき、事務局より説明）</p>
委員長	<p>人口統計から言えば、高齢者が更に増える。最後の方で、愛西市が高齢者にか</p>

	けるお金が少ないというような話があったが、どういうことか。
事務局	65歳以上の人口の割には、使われているサービス量が少ないということです。
委員長	それはサービスが少ないのではなく、サービスを受けている人が少ないということですね。元気な人が多いということでしょうか。
委員	愛西市は家族が頑張って介護しているから、介護保険をまだ使っていないというだけの話です。そういった家族関係が愛西市にはまだあるということであり、もし家族がいなくなると大変だということになります。
委員	資料2-3の5ページの高齢化率について、愛西市は31.7%ということは非常によいことで、高齢者が元気で長生きしているということだと私は理解しております。問題があるとすれば人口ピラミッドのところで、若い人が少なくなっていること、少子化や生産年齢人口が少なくなっていることが大きな問題だと思います。
事務局	皆さまがおっしゃられたことの総括にはなりますが、確かに愛西市は高齢化率が県内や全国と比べると高い一方、介護認定は少なくなっています。これをどうみるか、ということですが、おっしゃられたように元気な高齢者が多いということも1つだと思いますし、他の委員がおっしゃられたように家族で頑張っているというのもあると思います。介護保険制度がつくられてから20年以上経ちますので、制度をまだ知らないという方はいらっしゃらないと思っています。実際お金もかかりますので、サービスを使うか使わないかはあるとは思いますが、高齢福祉課としては、愛西市の高齢者の皆さまが元気にお過ごしいただいている、というような分析をしております。
委員	介護認定のところについて、10ページでは認定率が少なく出ています。また、資料2-3の12ページのこのグラフを見ると要介護3・4は全国、愛知県と比べてほぼ同等、要介護5では少し少ないくらいになっています。一方、要介護1・2は全国、愛知県と比べても高くなっています。要介護3として認定されなかった場合には在宅介護が大変で、デイサービスやショートステイを限界まで利用する、ということを恒常的にやらなければいけない状況や、それができないがためにケアマネジャーの方で調整が大変だという問題が起きているのかと思うところもあります。
委員	委託業者の方に1つ、市役所の方に1つお願いしたいと思います。委託業者の方には、第8期計画を隅から隅まで読んでほしい。そして、第8期の4ページには本計画で使用する用語説明が、107ページ以降には用語集というものがあります。これは、第5期から、職員が非常に大変な思いをしながらつくったものです。言葉の使い方特に注意をお願いしたい。それから市役所の方にはお願いしたいのは、新任委員の方々に第8期計画を差し上げましたか。見ていただいて、こういうものができるんだ、第9期計画はこれ以上によいものをつくろうと感じていただきたい。

委員長	<p>委員会を開催する際など、事あるごとにそういった用語集はあった方がよい。用語がわからなくても委員会は進行してしまうので、その状態で計画策定ではいけませんし、少しでもわかるように用語集は会議のたびに全員に配るくらいにしたほうがよいと思います。</p>
委員	<p>高齢者というのは昔気質なところもあり、心の中には、お上のお世話にはなりたくないという気持ちが結構あります。だから老人から見れば、市の設備がよくなる、よくなるということ、必ずしも大きな問題ではない。ただ、例えばお祭りなどの行事を地域で若い人たちと一緒にやれること、そういうことが健康で長生きでき、それから地域を愛する、誇りに思うということになり、一番大事だと考えています。だから、良いのか悪いのかはわかりませんが、あまりお上の世話にはならない方がよいという気持ちの方が多いと私は感じております。</p>
委員	<p>今のお話に重なりますが、私も高齢者宅に訪問する中で、皆さまからなるべく世話にはなりたくないというような雰囲気を感じております。私自身も私の両親も、やはりあまり世話にはなりたくないという気持ちがあります。今の医療や社会的な状況を見ても、高齢者の数は今後ますます増えていきます。大切なことは、子どもを増やすことや若い人たちの流出を止めることだと思いますが、これは恐らく市役所でいうと、それぞれ違う課の担当になります。ただ課が違うから別でやっていけばよいのかというとそういうわけではなくて、やはり横に繋がってやってほしいと思います。それから、高齢者に何かを広報する際に、手当を受けている方に具体的にお伝えする、より必要としている方に届くような広報と、全体に向けて一般的にわかる広報を併用する方法などもあるかと思います。一律の広報の仕方では、やはり届けたいところには届かない。悩みや困りごとを解決できないと思っている方がいらっしやいますので、本当にほしい方に情報が届くように、やり方を工夫していただけるとよいと思っております。</p>
委員長	<p>これは、実際にどうしようかという難しい問題です。高齢福祉課や市として発信する広報の方法を検討して、市民に正しく届くようにしてください。少子高齢化については国の対応を見守ることになるのでしょうか。</p>
委員	<p>国全体として子どもが減っているのは事実なので、その中で愛西市だけ増やそうということはできませんから、せめて出て行く人を止められるようにしなければなりません。働く場所がある市にしておかないと、やはり出て行く人は増える。出て行く人が増えれば、子どもの数も減ります。そういうことで総合的な対策をしないと、この資料を見なくても先々大変だということはわかります。</p>
委員	<p>やはり子育てしやすいまちづくりではないでしょうか。愛西市に行って子どもを産んで育てたいと思われる、そういうまちづくりが大切だと思います。</p>
委員長	<p>これで本日の議題はすべて終了しました。皆様のご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>3 その他についてですが、次回について、10月の下旬に第2回委員会を予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p>

